

令和7年度第2回芽室町総合計画審議会

参加者： 貴田会長、廣江副会長、太田副会長、蘆田委員、岩野委員、小池委員、白銀委員、
鈴木(昭)委員、鈴木(昇)委員、高橋委員、西村委員、花岡委員、林委員

欠席者： 小林委員、谷口委員

○会長挨拶

貴田会長

限られた時間で審議をお願いします。

○進行方法説明

事務局

資料に沿って、会議の進め方を説明。

○ 2024年度(令和6年度)施策実績評価について

①安心して生み育てることができる子育て支援

・評価について

意見なし。

・今後の取組について

意見なし。

評価 C

②子育て環境の充実

・評価について

委員

待機児童0ということだが、現在の保育所定員対する入所人員を教えてください。

佐藤係長

R7 定員523 入所435。

佐々木課長

年度末にはほぼ定数を満たす状態となる。

委員

年齢ごとの定員以内か。

佐藤係長

そうである。

- 今後の取組について
意見無し。

評価 C

③生涯を通じた健康づくり

- 評価について
意見無し。

- 今後の取組について
意見無し。

評価 D

④障がい者の自立支援と社会参加の促進

- 評価について

委員

これは本当合った事例か。

河井

委員友人の事例である。

- 今後の取組について
意見無し。

評価 C

⑤互いに認め合う地域社会の形成

- 評価について

意見無し。

- 今後の取組について

委員

外国人が増えていると思いますが、公共サインなどの対応は。

有澤課長

持ち合わせておらず人数は不明 今後必要性に応じて対応していく。

評価 C

⑥高齢者福祉の充実

- 評価について

意見無し。

- 今後の取組について

意見無し。

評価 C

⑦徹底した情報共有と町民参加の促進

- 評価について

意見無し。

- 今後の取組について

委員

施策方針に、主体的なまちづくりへの参加を促進とある。成果指標に含めても良いのではないか。

地域担当職員のシステムと仕事の内容が機能していない。役場職員が直接行って説明してもらうのが必要で大事な役目だと考えてもらいたい。

委員

地域担当職員について、町内会に対してどんな仕事をするかを明確に示して欲しい。職員と接触していくかを教えてもらいたい。

委員

未来ミーティングの人数が減ったことについての対策は考えているのか。

有澤課長

開催時期、場所を検討していきたい。

委員

オンライン配信はまだやっているのか。

有澤課長

行っている。

委員

農協もコロナ時期にやっていたがやめた。開催時期などいろいろやってみるしかない。対面の方が生産的な意見が出る。

評価 C

⑧有効な土地利用の推進

・評価について

意見無し。

・今後の取組について

委員

中心市街地にある空き店舗について、建物が古くなっている強制的な解体はできるのか。また、対策はあるのか？

佐藤課長

まちなかの空き店舗について、基本的には行政ができる部分はない。強風によって外壁、などが壊れそうだという場合は所有者に声かけはする。解体や対策は所有者が対応する。今後は行政がどこまで対応できるか考えていかななくてはならない。

空家については、町が特定空き家と認定し、オーナーが承諾すれば除却もできる。

評価 C

◎快適な住環境の整備

- ・評価について

意見無し。

- ・今後の取組について

委員

公共サービスパートナー制度ができない町内会が増えている。工夫しないと、将来的に美観が損なわれていくと思うがどう考えるか。

橋本課長

整備が難しいということで町管理に戻ったところが増えた。範囲を見直しながら、管理方法やお願いする範囲を考えていきたい。

委員

公共サイン等について、地域ブランディングでスイートコーンを進めているが、役場の内部の統一性が伝わっていない。コーンにつながるアイコンなど、役場で徹底的に進めてほしい。

佐藤課長

この公共サインは公共施設に対し、どうやって到達するかという目的で整備している。サインのデザインの統一感がないので、ここ数年整備をしてきた。サインも観光、注意喚起など種類がある。まちとして必要だと感じるので今後検討したい。

委員

公園について。使う当事者の子どもにアンケートを行ったことは評価。ワークショップで子どもたちの声もあった。反映されるようにしてもらいたい。

橋本課長

小中学生を対象にしたものや、町民全体対象アンケートを実施。今年度も芽室公園のワークショップを行う。子どもたちの声を聞いて参考にしたい。

委員

斎場について、2件火葬が重なると狭いのではないかと思う。

整備計画ができていくと思うが、建て替えなのか、改築なのか教えてもらいたい。

橋本課長

R3に基本計画を作成、今の建物に耐震性があるので増築改修を予定している。
待合室、利用方法も昔とは変わっているので、反映させ整備を進める。

委員

斎場の火葬について、火葬の運営方法について、1時間待たされたという声もあるので、あわせて対応いただきたい。

評価 C

⑩環境保全と再生エネルギーの推進

・評価について

意見無し。

・今後の取組について

委員

道路ゴミなどの環境整備に力を入れてほしい。道道の街路樹問題が過去からある。街路樹が街灯よりも大きくなって街灯の意味がない。信号機も同様。

落葉問題もある。街路樹としてあそこまで大きいものが必要なのか疑問。町から道に意見してもらえないか。

橋本課長

意見については、伝えて要望もおこなっている。危険な場合は町が承諾を得て実施している。

委員

根本的な解決策を道と町で何か考えてもらいたい。

委員

同意見。道道の次の先の信号が見えていない。事故が起きてからでは遅い。「対策を考える」で先に進んでいない。対策を考えてもらいたい。

委員

芽室町の景観、日高山脈や農村の風景はいいが、ゼロカーボンを推進することで、ソーラ

一ばかりでは景観が悪くなる。景観とゼロカーボンをつなげて考えてもらいたい。

斎藤参事

町の景観は日高山脈と農村景観だとおっしゃると町民は多い。町としても環境を守るということは計画にも記載している。どうやって共存していくかを町民皆さんからも聞いていきたい。

委員

今年、異常気象があった。家庭、事業者、町民ができることをはっきりさせていくことが必要では。

斎藤参事

大きなことも必要だが、小さなところからの積み上げが必要。専門部会でも意見があり、積極的にPRを行っていきたい。

評価 D

⑪廃棄物の抑制と適正な処理

・評価について

委員

町の取り組みは行っており、町民意識の問題だと思う。この成果指標ではDより望めないため、Cでもいいのではないかと考える。

・今後の取組について

委員

高齢社会になると分別ができなくなっていく人が増えていく。高齢者でもできる形にしていけないだろうか。

今後、ゴミ集積所が町内会で管理できない問題が顕在化していくと思うが、誰がそれを管理するかなど、対策を考える必要があると思われる。

斎藤参事

ゴミサポート制度がある。ゴミの集積場まで持っていけない方は持っていく制度。健康福祉課、ゴミ担当、ヘルパーが連携して、協議をして進めている。活用をお願いしたい。

分別については、燃やせる、燃やせないに分別をお願いしたい。分けてそれぞれのごみ袋に入れば、回収することができる。

個別に相談がある場合は伝え、対応を行っている。リサイクルの観点とは離れてしまうので、積極的な周知はできない。

ゴミ集積所については、大きな問題と考えている。加入されてない方が多い町内会からは相談もおおい。他の事例を確認して検討を進めていきたい。町内会連合会とも相談しながら進めていきたい。

評価 D

⑫道路交通環境の整備 評価 意見無し

・評価について

意見無し。

・今後の取組について

委員

タクシー利用の買い物を推進していきたい。買い物難民買物弱者をコミバスだけでは難しい。今後さらなる工夫をすすめてもらいたい。

委員

買い物に特化など、目的に応じたコミバスの運行をしてもらいたい。シニア世代がどうやった使いやすくなるかを聞いてもらいたい。

社会参加の場までの移動をどうするかという交通手段を検討してもらいたい。

委員

排雪について道道は年1回くるか来ないか。交通量の多い道路なので、町に対応いただいた。検討をいただきたい。

橋本課長

北海道に要望する。芽室町だけでなく、芽室町の基準に合わせてもらうようお願いする。

委員

駅前ロータリーの排雪もなかなかできていない。芽室の玄関というところで、駅の歩道の除雪もできていない。歩くこともなかなかできない。意識して気にしてもらいたい。排雪も事故につながるものなので検討してもらいたい。

委員

農村部のタクシー助成は半額助成、地域のインフラとして町としてどのように考えているか。

大石係長

自家用有償運送も町の公共交通の資源の一つとして考えている。

評価 C

○全体を通じて

委員

施策②「子育て環境の充実」にある、「寛容で協力的雰囲気」という文言について、注釈が必要ではないか。町内会に加入した理由が子供の顔と名前を覚えて地域に見守ってもらったことであった。地域の目を子育てに活かしていくという観点が必要ではないか。

委員

評価理由がなぜそうなのかということ生かすことが大事だと山崎教授が講演で言っていた。

グループワークの結果を読み取るのが難しかった。

例えば、担当課評価がD評価で、庁内評価がC評価となっているマネジメントシートがあったがなぜなのか、だとか、障がい者のヘルパーの件など、もう少し資料に補足が無ければ分からない部分が多かった。